

● ○さんの合理的配慮とその評価(△年生時)

幼・**小**・中・高 ( )年( )学級  
氏名 ( )

合理的配慮	評価1 (7月)	評価2 (12月)	評価3 (2月)			
<p><b>人的支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副担任、支援員は本人が不安定な時や本人に依頼があった時だけ補助する。</li> <li>・年3回の東北福祉大学の教授や県特別支援教育室の指導主事から授業等に関する助言を受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内を移動する時「一緒に来て」の依頼は始めの1~2回のみ応え、1人で行くように仕向けてきたことで1人で行く機会が増えてきている。○</li> <li>・本児の実態に合った学習課題の設定の仕方を学んだ。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安定になる機会が少なくなり、必要に応じて支援をしてきた。○</li> <li>・本児の実態に即した学習やねらい、合理的配慮を形成していくことが必要である。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時の友達とのトラブルを不安に思っているため、下校時に担任等が本児が安心できるまで一緒に付き添って不安解消を図っている。○</li> </ul>			
<p><b>物理的支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の不安を和らげるために下駄箱とロッカーをあおば学級と交流学級に設定する。</li> <li>・小集団で集中して学習できる場やクールダウンの場として隣の教室をフリースペースとして活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行き渋った時や本児の気持ちに合わせて下駄箱などを使用できた。○</li> <li>・1学期は、5年生2名で算数の学習をフリースペースで行った。集中して学習を進めることができた。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常は交流学級の下駄箱、ロッカーを使用し、特別支援学級の行事や本児の気持ちに合わせて使用できた。○</li> <li>・小集団の学習の場として活用しつつ、学級全体で学習しても混乱せずに学習できるようになった。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力学級の下駄箱を使用し、帰りはあおば学級からすぐに帰りたいとの希望でランドセルをあおば学級に置くようになった。○</li> <li>・大きな混乱などなく、落ち着いて学習できるようになった。○</li> </ul>			
<p><b>教示方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の予定や学習時間の流れをホワイトボード等に提示する。</li> <li>・文字を丁寧に書くことを意識させるために、時折教員が筆順を教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れや学習の流れの提示は、見通しが持てて安心して取り組んでいる。○</li> <li>・筆順を言っている時はゆっくりと書くがまだ定着していない。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の流れや学習の流れの提示は、見通しが持てて安心して取り組んでいる。○</li> <li>・鉛筆の持ち方を確認すると字が丁寧になることが分かり、声掛けを始めた。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等がない時には一日の予定のみで安心して過ごせるようになった。○</li> <li>・鉛筆を正しく持つことができず、なかなか字を丁寧に書くことが難しい。</li> </ul>			
<p><b>機器等補助用具</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢保持力を付けるためにバランスボールを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまりバランスボールを活用できなかった。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育の時間にも活用し、姿勢保持力を育成できた。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後などに使用してきたことで姿勢保持力が付いてきている。○</li> </ul>			
<p><b>カリキュラムの修正と教育的措置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数では、3~4学年の内容を含めて学習を進める。</li> <li>・友達との距離を取りながら話したり相手の話を聞いたりする場を様々な場面で取り入れる。</li> <li>・年間を通して手先を使う作業的な学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・割り算や掛け算で3、4学年の内容を確認しながら学習を進めた結果、小数の掛け算や割り算ができるようになった。○</li> <li>・友達との距離を取れるようになってきたが、一方的な会話が長い。▲</li> <li>・折り紙やハサミを使用した学習を取り入れているが、まだ手先を使うのは苦手である。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数の学習を3学年の内容から行う。分数の意味や同分母の加減法ができるようになってきた。○</li> <li>・自立活動と児童会行事をタイアップさせてコミュニケーションスキルを高めることができた。○</li> <li>・毎月の壁飾り等の作業的な活動を行ってきたが、まだまだ手先の不器用さは残っている。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5学年の多角形、円と円周、分数の乗法・除法は6年生時に行う。</li> <li>・放送委員会に所属し、聞き取りやすいアナウンスを心掛けることができた。○</li> <li>・下学年の特定の児童に「頭をなでて」と甘える姿が見られる。▲</li> <li>・自分の似顔絵などを友達の絵を参考に描くことが出来るようになってきている。○</li> </ul>			
<p><b>関連する合理的配慮の観点</b></p>	①-1-1	①-1-2	①-2-1	①-2-3	②-1	③-2
<p><b>共に学ぶ場面の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会、理科、体育、家庭科、総合的な学習の時間、外国語活動を交流学級で学習する。</li> <li>・学級内での学習の中で友達と意見交流を行ったり休み時間等に一緒に遊ぶ機会を設けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学級の友達との交流が見られ、たくさんの友達の名前が本児から聞かれるようになってきている。○</li> <li>・学級内の友達と関わる時間が少しずつ長くなってきている。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊体験活動が終了後、特別支援学級の教室に、5学年の児童が顔を見せることがあり、5学年の児童たちとの交流に深まりを感じる。○</li> <li>・学級内の友達との関係が良くなり、自分の考えを話す機会が増えた。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動に意欲的に参加する姿が見られるが、気持ちが昂ぶってしまうことがあるので、落ち着いて学習に臨めるように支援している。▲</li> <li>・交流学級の中で本児の真似が見られるようになってきているので、担任と確認してきた。▲</li> <li>・学級内だけでなく、交流学級の友達に会話する（一方的な質問や話）姿が見られるようになってきた。○</li> </ul>			

● ○さんの合理的配慮とその評価（口年生時） ※前ページの次年度分

幼・**小**・中・高（ ）年（ ）学級  
氏名（ ）

合理的配慮	評価1（7月）	評価2（12月）	評価3（2月）	
人的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内を自由に歩く姿が見られる。○</li> <li>・下校時の担任等の付き添いは、本児の申し出がある時だけにしている。○</li> <li>・交流学級で学習する場合の本児の実態に合った学習課題の設定の仕方を学んだ。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下校時の担任等の付き添いの申し出が少なくなっている。○</li> <li>・本児が困っている時は自分から支援を求めるようになってきている。○</li> <li>・交流学級で学習する場合の本児の実態に即した学習やねらい、合理的配慮を形成していくことが必要である。▲</li> </ul>		
物理的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の不安を和らげるために下駄箱とロッカーをあおば学級と交流学級に設定する。○</li> <li>・小集団で集中して学習できる場やクールダウンの場として隣の教室をフリースペースとして活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の心の揺れはある時も交流学級の下駄箱、特別支援学級のロッカーを使用することが定着化されている。○</li> <li>・6年生3名での国語の学習をフリースペースで行った。集中して学習を進めることができた。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の心の揺れはある時も交流学級の下駄箱、特別支援学級のロッカーを使用することが定着化されている。○</li> <li>・小集団の学習の場として活用しつつ、学級全体で学習しても混乱せずに学習できるようになった。○</li> </ul>	
教示方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の予定や交流学級での学習では、その時間の流れをホワイトボード等に提示する。</li> <li>・交流学習時に一人で考えることができるようにワークシート等には漢字に振り仮名を付ける。</li> <li>・文字を丁寧に書くことを意識させるために、時折教員が鉛筆の持ち方を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級での学習では、学習の流れがなくとも落ち着いて学習できるようにしている。○</li> <li>・教師用の予定表を勝手に見ってしまうので見ないことを確認している。▲</li> <li>・交流学級の学習では、学習の流れがあると落ち着いて参加できる。○</li> <li>・漢字に振り仮名が付いていると、学習を進められる。○</li> <li>・鉛筆の持ち方を確認することを継続中である。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流学級の学習では、学習の流れがあると落ち着いて参加できる。○</li> <li>・教師用の予定表を見ないことを継続して確認している。▲</li> <li>・読めると思われる漢字には振り仮名を付けないようにしたところ、読めない時には「分かりません」と支援を求めることができた。○</li> <li>・鉛筆の持ち方を確認することを継続中である。▲</li> </ul>	
機器等補助用具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢保持力を付けるためにバランスボールを活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢保持力が付いてきたものの、あまりバランスボールを活用できなかった。▲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢保持力が付いてきたものの、あまりバランスボールを活用できなかった。▲</li> </ul>	
カリキュラムの修正と教育的措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数では、5学年の内容を含めて学習を進める。</li> <li>・友達との距離を取りながら話したり相手の話を聞いたりする場を様々な場面で取り入れる。</li> <li>・年間を通して手先を使う作業的な学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・割り算や掛け算で5学年の内容を確認しながら学習を進めた結果、分数の掛け算や割り算ができるようになった。○</li> <li>・友達との距離を取れるようになってきたが、甘えたい時や不安な時に気に入った友達との距離を縮める時がある。▲</li> <li>・手先を使うのは苦手なものの、ハサミを意欲的に使用する姿が見られる。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立体の体積では、体積の概念や底面積の求め方が定着できなかったため、実物を使用したり公式を確認したりしながら学習を進めた。▲</li> <li>・自立活動と児童会行事をタイアップさせてコミュニケーションスキルを高めることができた。○</li> <li>・毎月の壁飾りでは、自分の似顔絵をスラスラと描くことができるようになっていく。○</li> </ul>	
関連する合理的配慮の観点	①-1-1 ①-1-2 ①-2-1 ①-2-3 ②-1 ③-2			
共に学ぶ場面の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会、理科、体育、家庭科、総合的な学習の時間、外国語活動を交流学級で学習する。</li> <li>・交流学級での学習の中で、「話し合う時の約束」を設定し、友達と話し合う場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行以降、交流学級の友達の名前が本児から聞かれるようになってきている。○</li> <li>○</li> <li>・交流学級でのグループの話し合い時に本児の意見を聞く場があり、意見を聞いてもらえることを喜んでいた。○</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動では、楽しくコミュニケーションを図りながら学習することができた。○</li> <li>・理科で実験方法の話合いの中で、自分の考えを話し、グループ代表として考えを発表することができた。○</li> </ul>	